

令和元年度教育行政執行方針概要

「ふるさと沼田」を愛し

「世界に羽ばたく」人材を

現代社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などによって、社会構造や雇用環境が大きく急速に変化しており、複雑で予測困難な時代となっており。

そのような背景の中、子どもたちの日々の充実した生活を実現し、未来の創造を目指していくためには、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現することが求められております。



教育長 吉田 憲 司

3月7日に開催された第1回議会定例会で、吉田教育長が令和元年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

新学習指導要領が、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面实施となり、各学校において準備が進められており、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成するための、授業改革に取り組んできております。

また、今日、学校が抱える問題は、いじめや不登校、貧困や児童虐待、特別な配慮を必要とする児童・生徒への対応や、保護者へのきめ細やかな対応の他、学校における働き方改革の推進など多岐にわたり、様々な課題解決に向けて、家庭や地域との

連携も図りながら取り組んでいくことが必要とされており。

一方、時代の変化に伴い人々の価値観が多様化しておりますが、生きがいを感じ心豊かな人生をおくるための環境づくりとして、社会教育の役割も重要であります。

わが町が、これからも発展していくためには、教育が果たす役割は極めて大きく、教育委員会としても子どもからお年寄りまでの町民が「沼田でよかつた」と思ってもらえるような、「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」に向けて各種施策の展開を全力で取り進めて参ります。

以下、令和元年の主要施策について申し上げます。

★教育の総合的な充実・発展に向けて

子ども達を取り巻く環境がめまぐるしく変化するとともに、様々な要因が複雑に絡み合っており、学校生活に順応できない子ども達の存在が全国的に報告されています。子どもたちのより良い発達には、確かな学力の習得、健全な人間関係の育成や生活習慣の確立、自己実現を支える教師力の向上や学びの環境整備を通じた

地域の教育力の向上が必要であります。本町は平成25年度より、小学校から中学校までの義務教育の9年間を一体のものとして捉え、小・中・家庭・地域が互いに連携しながら、「小中一貫・連携教育」に取り組み、昨年4月に、併設型小中一貫校「沼田学園」を開設致しました。

一貫・連携教育の第3期を迎える本年度は、児童・生徒が社会で自立できる基礎的な資質・能力の育成を図るため、これまでの一貫・連携教育の取り組みの成果を生かしながら、学校における組織体制・指導体制の更なる充実を図り、義務教育の9年間における、子ども達の心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めるとともに、ふるさと沼田に誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く子どもを育てるための教育となる、新たな3年間のスタートの年と致したいと思っております。

★ふるさと教育・

キャリア教育の充実

子どもたちが生まれ育った、地域の自然や伝統・文化に親しみ、理解を深めるふるさと教育の充実は、先人の生き方に触れることなどを通して、ふるさとへの愛着や誇りを育み、

自尊感情の醸成に繋がるものと考えます。地域社会への一員として、逞しく生き抜く子ども達を育成するため、沼田の地域素材を活用し、地域の方々から協力いただきながら、沼田町の良さや魅力を知る、ふるさと教育に本年度も取り組んで参ります。

子ども達は将来社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。児童・生徒が町内の様々な職業や地元企業の職場を見学したり体験することで、職業についての基礎的な知識と技能・勤労を重んずる態度を学び、個性に応じた将来の進路を選択する能力を養うことを目的とした、キャリア教育も引き続き取り組んで参ります。

★国際化への対応

グローバル化が進む中、国際共通語である英語力の向上は、次代を担う子どもたちにとって極めて重要であり、令和2年度からの新学習指導要領において小学校3・4年生では外国語活動が、5・6年生では英語が教科として導入されることとなっております。

本町においてもこうした動きを捉

え、昨年から週5日の配置とした外国語指導助手（ALT）の活用による効果的な授業の展開、小学校教員の英語の指導力向上に向けた研修活動や小中一貫・連携教育における英語授業の系統化、中学校英語教師の乗り入れ授業、中学生への英語検定の受検料助成をこれまで行ってきた。令和2年度の全面実施に向けて外国語活動等の更なる充実を図って参ります。

沼田学園も2年目となり、まだまだ課題はありますが、児童・生徒の学力・体力の向上とふるさと沼田を愛し、逞しく世界に羽ばたく人材となることを期待しているところであり、教育委員会といたしましては、教育の重大な使命をしっかりと自覚し、活力に満ちた沼田町を創って行くために職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。令和元年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。

※平成31年を令和元年に置き換えて表記しています。